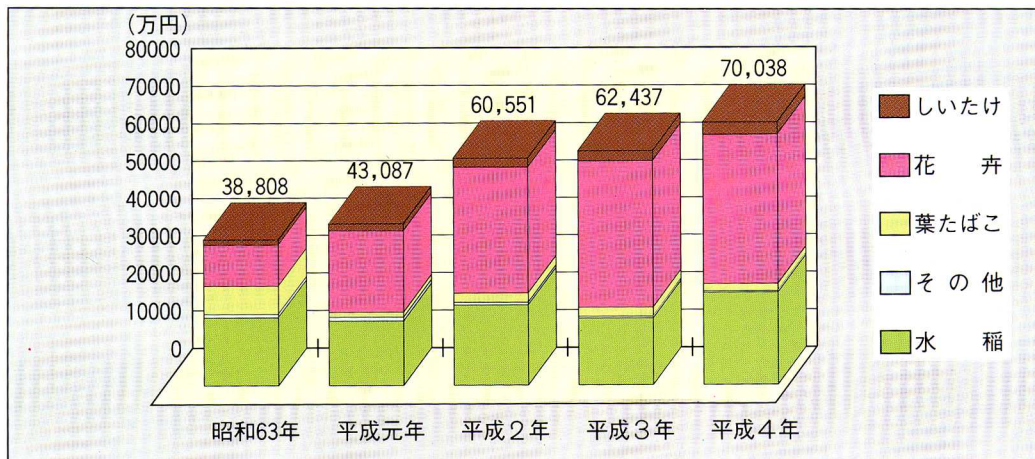


培がしめるようになってきていることを考えてみても、村のとても大切な農業となっていることがわかります。今後さらに、かすみ草栽培に参加する農家が増えようとしています。一方、東京や北海道からもかすみ草栽培にひかれ、会社勤めを辞めて村にやって来る若い人たちもみられます。そうした人たちは、村の指導者から手ほどきを受け、すばらしい花を生産しています。そして、そのまま昭和村に永住しようと考えている人もいます。

また、月に1回研究会が開かれ、よりよい花作りのための話し合いが夜おそくまで行われています。こうした絶ゆまぬ農家の人びどの努力が、都市に住む人たちから高い評価をえるもとになっているのです。

昭和村の主要農産物生産額の移り変わり (平成6年度村役場調べ)



ジュンサイの栽培

品質の良いジュンサイは、水温が低く、しかもきれいな水で、気候が冷涼な土地でないとなかなか栽培できません。会津地方では裏磐梯の小野川湖や檜原湖がよく知られています。昭和村の気候や風土はジュンサイ栽培にとっても適しているといえましょう。

今日の昭和村特産のジュンサイが生まれるまでの苦労話があります。